

2013年度第11回 横浜市立市民病院 受託研究審査委員会 会議の記録の概要

開催日時 開催場所	2014年3月6日(木)16:05~17:00 本館8階 会議室
出席委員名	岡本 浩明、望月 康久、高尾 良洋、立川 夏夫、石山 暁、国兼 浩嗣、安藤 紀子、仲里 朝周、石川 崇子、岡本 佳子、小迫 富美恵、澤村 公志、(堀川 尚実)、白木 健介、林 健一、深澤 博、杉山 久仁子、(門田 佳子) ( )内は欠席
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>議題① 中外製薬株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたペバシズマブの第Ⅲ相製造販売後臨床試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象および措置報告、試験実施計画書/同意説明文書の改訂、試験期間が1年を超えるため、試験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題② 日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅰb/Ⅱ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題③ MSD株式会社の依頼によるMK3475第Ⅱ/Ⅲ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題④ プリストル・マイヤーズ株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたIpilimumabの第Ⅲ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象および措置報告について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑤ プリストル・マイヤーズ株式会社の依頼による進展型小細胞肺癌患者を対象としたIpilimumabの第Ⅲ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象および措置報告について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑥ 武田バイオ開発センター株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたAMG706のアジア共同第3相臨床試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象および定期報告、治験薬概要書の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑦ 中外製薬株式会社の依頼によるPRO143966とRo50-8231併用の第Ⅱ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑧ メルクセローノ株式会社の依頼によるEMD531444の第Ⅰ/Ⅱ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑨ オンコセラピー・サイエンス株式会社の依頼によるOCV-C01による標準療法不応膀胱癌に対するプラセボ対照ランダム化第Ⅲ相臨床試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象および研究報告について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑩ 協和発酵キリン株式会社の依頼によるKRN321の第Ⅱ相試験 当該試験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑪ 第一三共株式会社の依頼による肺癌患者を対象としたNimotuzumabの第Ⅲ相試験 治験実施計画書の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題⑫ 完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメレキセド+シスプラチン併用療法の第Ⅲ相試験(臨床研究) 当院で発生した重篤な有害事象および試験実施計画書、同意説明文書の改訂について、引き続き試験を実施することの妥当性を審議した。 審議結果:承認</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>以下の迅速審査について報告された。 報告① 日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅰb/Ⅱ相試験 試験実施計画書の改訂(2014年2月26日(水)実施:承認)</p> <p>以下の終了について報告された。 報告② 協和発酵キリン株式会社の依頼によるKRN321の第Ⅱ相試験 以下の開発中止について報告された。 報告③ オンコセラピー・サイエンス株式会社の依頼によるOCV-C01による標準療法不応膀胱癌に対するプラセボ対照ランダム化第Ⅲ相臨床試験</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅰb/Ⅱ相試験の試験用量決定について報告された。</p>